

2023年3月期 決算説明会

2023年5月12日

株式会社 **ハイマックス**

代表取締役社長 中島 太

証券コード: 4299 東証プライム市場

<https://www.himacs.jp/>

目次

1

2023年3月期 決算概要(連結)

2

**中長期経営計画「C⁴ 2022」
(2016～2022年度)**

3

2024年3月期 業績予想(連結)

4

**次期中期経営計画の概要
(2023～2025度)**

Appendix (四半期推移)

1

2023年3月期 決算概要(連結)

損益計算書(連結)

- 売上高 (3.9%増): 銀行、証券、公共、流通向けの案件の拡大
- 営業利益 (6.8%増): 外注単価の上昇も、生産性向上と増収効果で増益

(百万円)

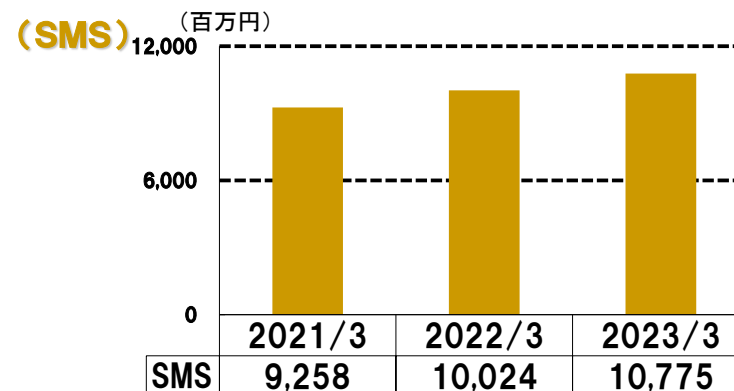
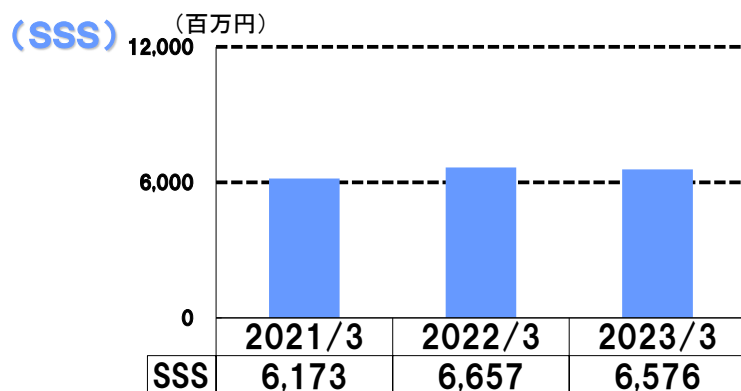
| | 2022/3期 | | 2023/3期 | | 比較増減 | |
|-------------------------|---------|--------|---------|--------|--------|-------|
| | | (構成比) | | (構成比) | (額) | (率) |
| 売上高 | 16,681 | 100.0% | 17,331 | 100.0% | +650 | +3.9% |
| 売上原価 | 13,374 | 80.2% | 13,860 | 80.0% | +486 | +3.6% |
| 売上総利益 | 3,306 | 19.8% | 3,471 | 20.0% | +165 | +5.0% |
| 販管費 | 1,590 | 9.5% | 1,638 | 9.5% | +48 | +3.0% |
| 営業利益 | 1,716 | 10.3% | 1,833 | 10.6% | +117 | +6.8% |
| 経常利益 | 1,719 | 10.3% | 1,844 | 10.6% | +124 | +7.2% |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1,213 | 7.3% | 1,294 | 7.5% | +81 | +6.7% |
| 1株当たり 当期純利益 | 104円63銭 | - | 111円27銭 | - | +6円64銭 | - |

サービス分野別売上高(連結)

- **SSS** : 銀行及び公共向けの案件が拡大、
一方、クレジットの次期受注案件の立ち上がりの遅れが発生
- **SMS** : 公共及び流通並びにDX系案件の拡大

(百万円)

| サービス分野 | 2022/3期 | 2023/3期 | 比較増減 | |
|-----------------------------|-------------------|-------------------|------|-------|
| | (構成比) | (構成比) | (額) | (率) |
| ■ (SSS) システム・ソリューションサービス | 6,657 (39.9%) | 6,576 (37.9%) | ▲80 | ▲1.2% |
| ■ (SMS) システム・メンテナンスサービス | 10,024 (60.1%) | 10,755 (62.1%) | +731 | +7.3% |
| 合計 | 16,681 | 17,331 | +650 | +3.9% |



業種別売上高(連結)

| 業種 | 2022/3期 (構成比) | 2023/3期 (構成比) | 増減率 |
|---------|-------------------|-------------------|--------|
| 金融小計 | 11,534 (69.1%) | 11,705 (67.5%) | +1.5% |
| ■ 銀行 | 2,359 | 2,731 | +15.8% |
| ■ 証券 | 474 | 679 | +43.3% |
| ■ 保険 | 5,768 | 5,680 | ▲1.5% |
| ■ クレジット | 2,933 | 2,614 | ▲10.9% |
| 非金融小計 | 5,146 (30.9%) | 5,626 (32.5%) | +9.3% |
| ■ 公共 | 818 | 1,304 | +59.4% |
| ■ 流通 | 1,102 | 1,274 | +15.6% |
| ■ その他 | 3,226 | 3,049 | ▲5.5% |
| 合計 | 16,681 | 17,331 | +3.9% |

- 金融向け
 - ✓ 銀行: ネット銀行・都銀向け案件の拡大
DX案件の継続受注
 - ✓ 証券: エンドユーザー取引及びDX案件拡大
 - ✓ 保険: 生保の継続大型案件で取引量確保
 - ✓ クレジット: 次期受注案件の一部に立ち上がりの遅れが発生
- 非金融向け
 - ✓ 公共: 中央官庁・空運及びDX案件拡大
 - ✓ 流通: 大手スーパー及びコンビニ向け案件の拡大
 - ✓ その他: 陸運企業案件の一部収束

顧客別売上高(連結)

(百万円)

| 業種 | 2022/3期 (構成比) | 2023/3期 (構成比) | 増減率 |
|----------------|-------------------|-------------------|--------|
| Sier | 11,596 (69.5%) | 12,111 (69.9%) | +4.4% |
| ■ 金融 | 7,580 | 7,904 | +4.3% |
| ■ 非金融 | 4,016 | 4,208 | +4.8% |
| エンドユーザー | 5,085 (30.5%) | 5,220 (30.1%) | +2.7% |
| ■ 金融 | 3,954 | 3,801 | ▲3.9% |
| ■ 非金融 | 1,131 | 1,419 | +25.5% |
| 合計 | 16,681 | 17,331 | +3.9% |

■ Sier

- ✓ 金融：
 - ・銀行及び証券向け案件の拡大
 - ✓ 非金融：
 - ・公共(中央官庁)及び流通向け案件の拡大
-
- エンドユーザー
 - ✓ 金融：
 - ・証券向け案件の拡大
 - 一方、クレジット案件の立ち上がり遅れ
 - ✓ 非金融：
 - ・公共(空運)案件の拡大

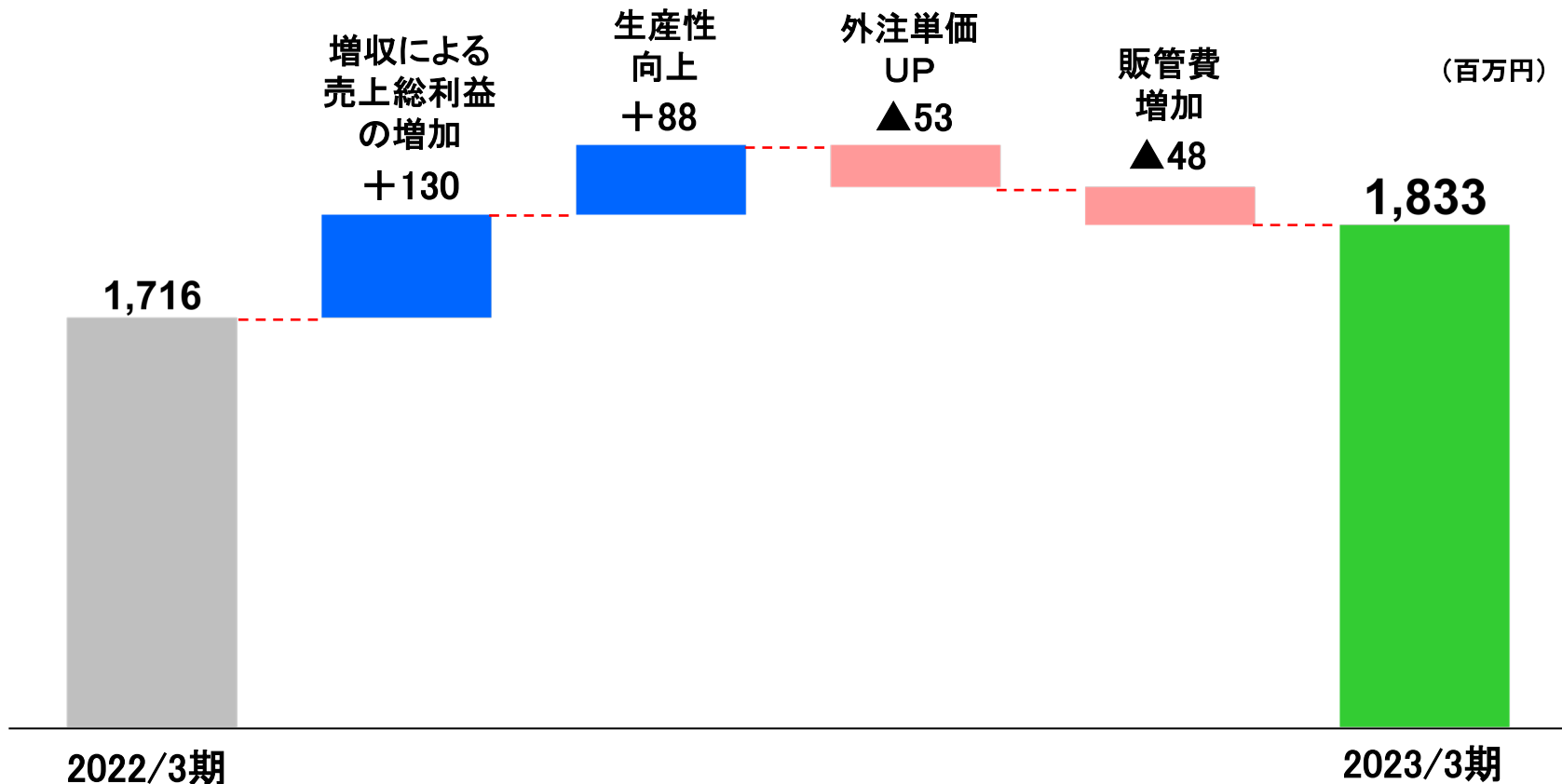
営業利益分析(連結)

<利益の増加要因>

- 増収による売上総利益の増加
- 生産性向上

<利益の減少要因>

- 外注単価UP
- 販管費の増加

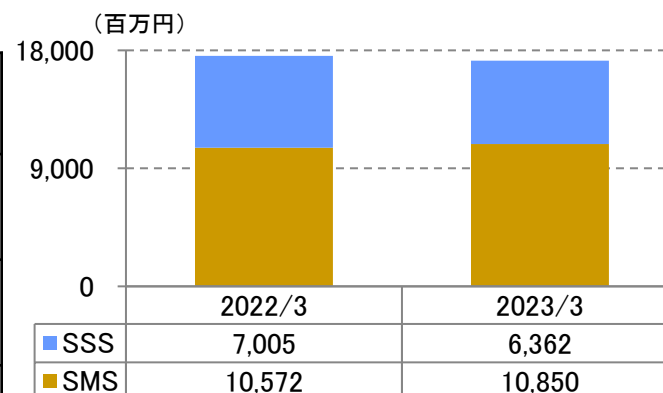


受注高及び受注残高の状況(連結)

- 次期受注案件の立ち上がりの遅れにより、SSSが減少

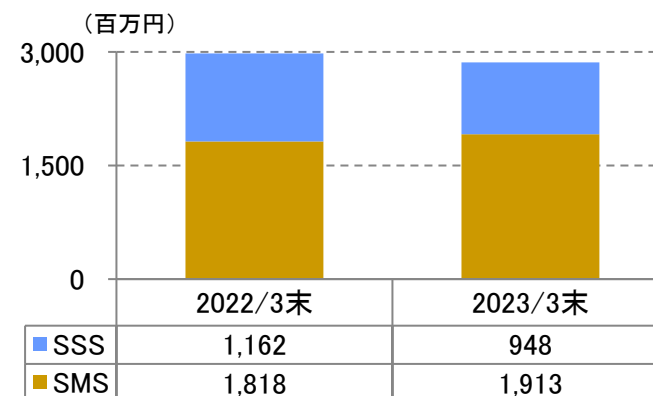
受注高

| サービス分野 | 2022/3期 (構成比) | 2023/3期 (構成比) | 増減率 |
|--------------------------|-------------------|-------------------|-------|
| ■ (SSS) システム・ソリューションサービス | 7,005 (39.9%) | 6,362 (37.0%) | ▲9.2% |
| ■ (SMS) システム・メンテナンスサービス | 10,572 (60.1%) | 10,850 (63.0%) | +2.6% |
| 合計 | 17,577 | 17,212 | ▲2.1% |



受注残高

| サービス分野 | 2022/3末 (構成比) | 2023/3末 (構成比) | 増減率 |
|--------------------------|------------------|------------------|--------|
| ■ (SSS) システム・ソリューションサービス | 1,162 (39.0%) | 948 (33.1%) | ▲18.4% |
| ■ (SMS) システム・メンテナンスサービス | 1,818 (61.0%) | 1,913 (66.9%) | +5.2% |
| 合計 | 2,980 | 2,861 | ▲4.0% |

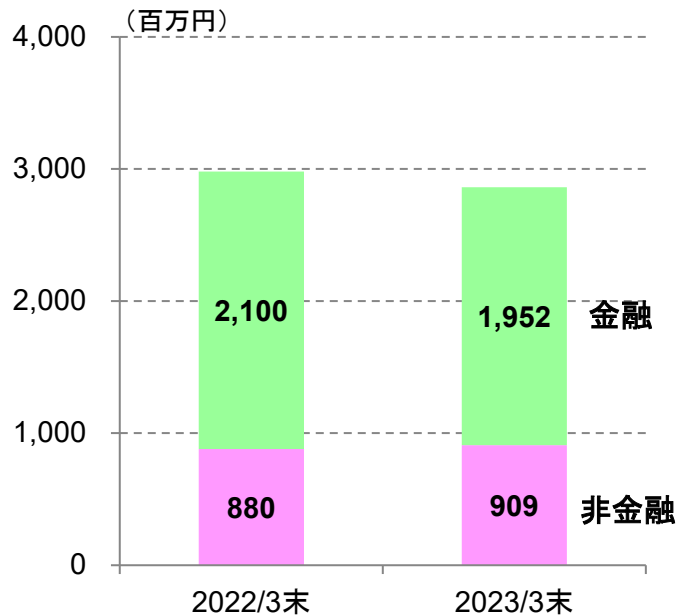


受注残高の内訳(連結)

■ 金融とエンドユーザー向けで受注残減少

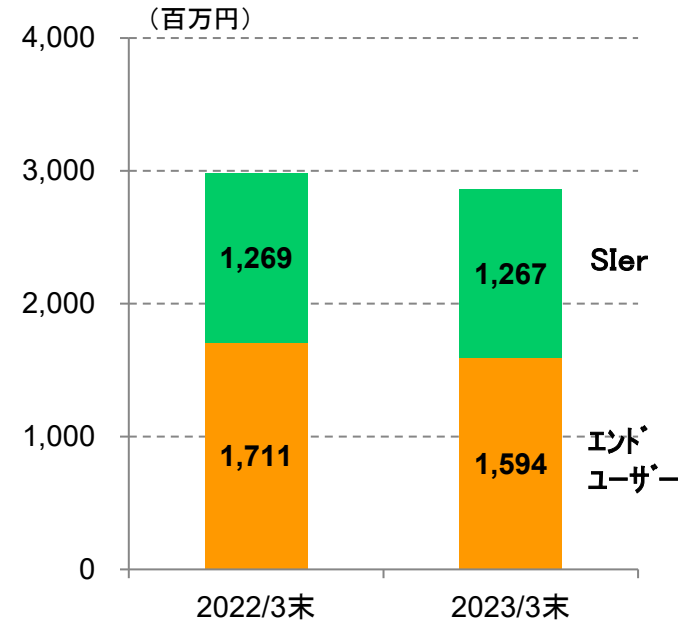
業種別

- 金融向け ▲147百万円
- 非金融向け +28百万円



顧客分野別

- Sier ▲2百万円
- エンドユーザー ▲117百万円



業績の推移(連結)

■ 株主資本コスト **5%程度** の認識 に対し、ROE **13%** 確保

(百万円)

| | 2019/3 | 2020/3 | 2021/3 | 2022/3 | 2023/3 |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 売上高 | 14,834 | 15,342 | 15,431 | 16,681 | 17,331 |
| (前期比) | 9.9% | 3.4% | 0.6% | 8.1% | 3.9% |
| (利益率) | 6.6% | 6.6% | 8.9% | 10.3% | 10.6% |
| 営業利益 | 986 | 1,012 | 1,367 | 1,716 | 1,833 |
| (前期比) | 0.5% | 2.6% | 35.1% | 25.5% | 6.8% |
| 総資産 | 10,231 | 10,314 | 11,217 | 12,257 | 12,875 |
| 純資産 | 7,624 | 8,089 | 8,615 | 9,510 | 10,313 |
| 1株当たり当期純利益(EPS) | ¥73.62 | ¥71.26 | ¥94.81 | ¥104.63 | ¥111.27 |
| 1株当たり純資産(BPS) | ¥782.22 | ¥829.97 | ¥745.35 | ¥819.07 | ¥886.45 |
| 1株当たり年間配当金 | ¥25.00 | ¥25.00 | ¥25.00 | ¥40.00 | ¥43.00 |
| 配当性向 | 34.0% | 35.1% | 26.4% | 38.2% | 38.6% |
| 自己資本比率 | 74.5% | 78.4% | 76.8% | 77.6% | 80.1% |
| 自己資本利益率(ROE) | 9.8% | 8.8% | 11.2% | 13.4% | 13.1% |
| 総資産経常利益率(ROA) | 10.1% | 9.9% | 12.7% | 14.6% | 14.7% |
| 期末社員数(名) | 820 | 843 | 869 | 890 | 891 |

※2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たりの数値は、株式分割の影響を遡及して調整しております。

株価及び株主総利回り(TSR)の状況

| ■ TSR | 保有期間※ | 1年間 | 3年間 | 5年間 |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| | ハイマックス | 112.6% | 191.5% | 220.8% |
| | TOPIX | 102.9% | 142.8% | 116.7% |

※2023年3月末の終値を基準としています。



※当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、
また、2021年3月1日付で普通株式1株につき0.2株の割合で自己株式の無償割当てを行っております。
当社株価の推移等は、これらの影響を考慮しております。

2

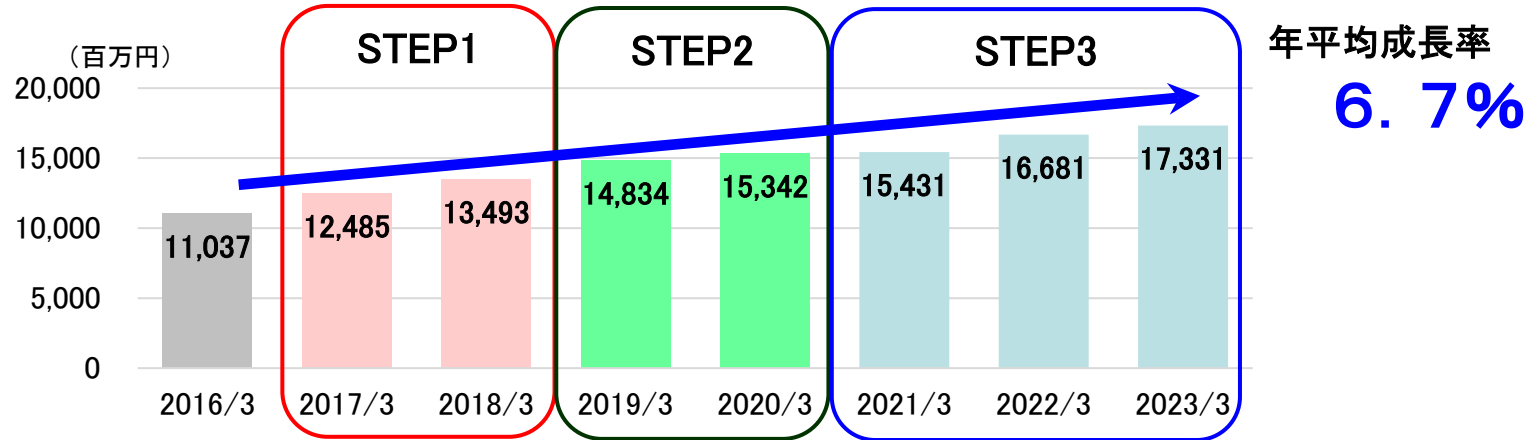
中長期経営計画

「C4 2022」の状況

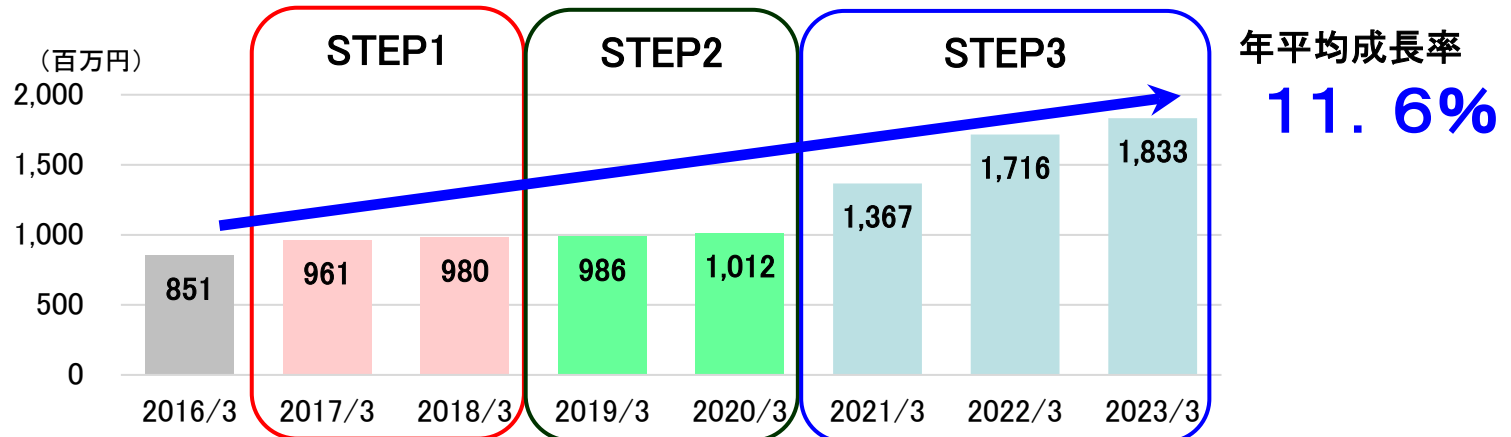
(2016～2022年度)

中長期経営計画の振り返り

◆ 売上高の推移



◆ 営業利益の推移



中長期経営計画の振り返り

◆ 受託開発事業(コアビジネス)の拡大

◆ 第2・第3の柱となる顧客づくり

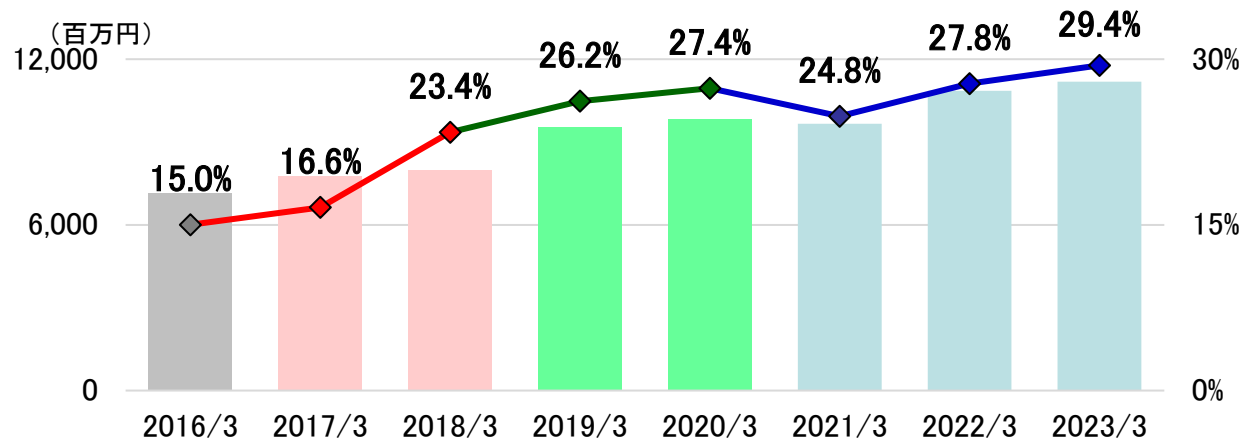
✓ 年間売上高10億円以上の企業グループ数

1社(2015年度)⇒ 2社(2017年度)⇒ 4社(2019年度)⇒ **5社**(2022年度)

✓ 重点顧客4社の状況(売上高及び非金融比率の推移)

売上高年平均成長率 : **6.6%**

非金融比率 : 15.0%(2015年度)⇒ **29.4%**(2022年度)

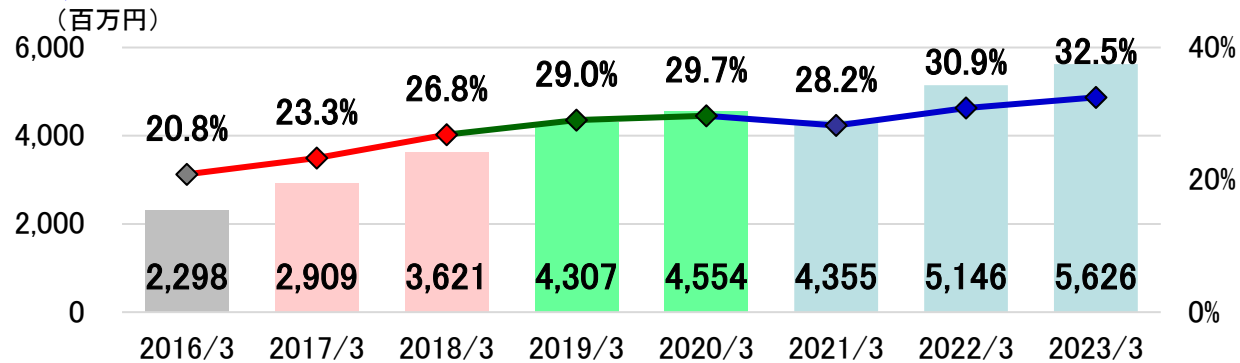


(注) 棒グラフ：重点顧客4社売上高合計
折線グラフ：重点顧客4社売上高合計の非金融比率

中長期経営計画の振り返り

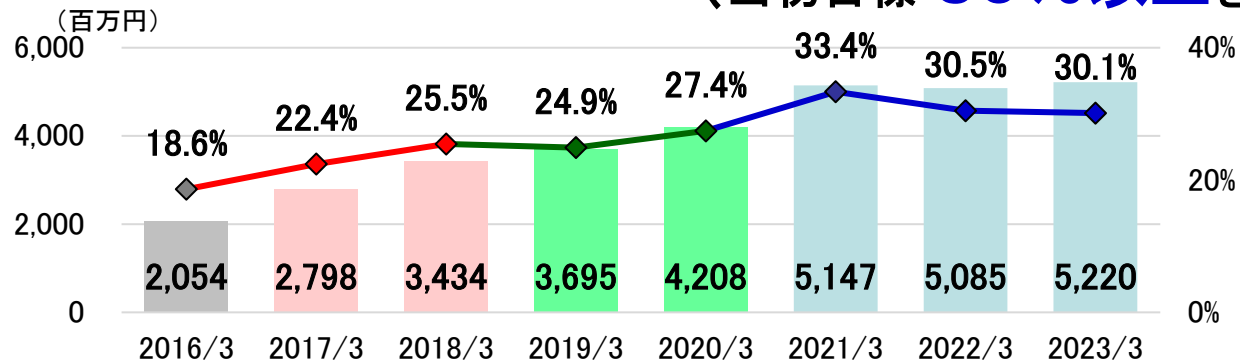
◆ 受託開発事業(コアビジネス)の拡大

◆ 非金融分野比率の向上(当初目標 30%以上を達成)



◆ エンドユーザー取引比率の向上

(当初目標 30%以上を達成)

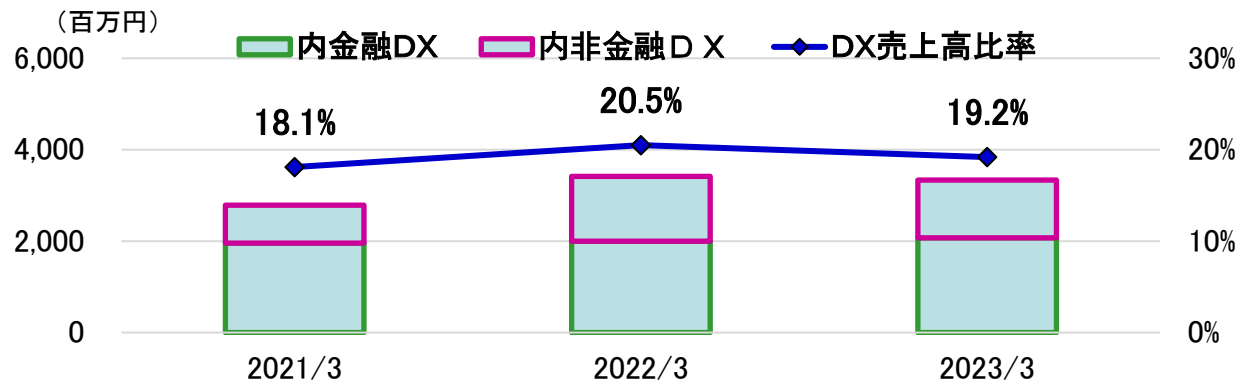


中長期経営計画の振り返り

◆ DX案件の積極的受注

✓ DX案件売上高及び売上高構成比の推移

約20%がDX案件の売上高で推移。主要全業種からDX案件を受注。



- ✓ クラウド型バンキングソリューション
- ✓ 生命保険会社向けのデータ分析及び機械学習モデル構築案件
- ✓ 損害保険向け営業システム案件
- ✓ クレジット業界向けのアジャイル開発案件
- ✓ 大手保険会社様向け高速仮説検証プラットフォーム構築およびアジャイル開発支援
- ✓ 大手SIerの温室効果ガス排出量可視化プラットフォーム・アジャイル開発支援
- ✓ 大手SIerのIoTプラットフォーム・アジャイル開発案件
- ✓ 製造業向け『Anaplan』(意思決定支援ツール)導入支援
- ✓ 大手SIerとのDX関連技術研究の協業
クラウド技術(AWS、Azure、GCP)、コンテナ技術 等

中長期経営計画の振り返り

◆ 体質の強化

◆ 重点教育

- ✓ プロジェクトリーダー(PL)育成及び開発力強化に向け社内教育を再整備

- PL育成 : 品質管理、スコープ管理、コスト管理、進捗管理
- 開発力強化 : 開発プロセス、問題解決力、設計の原理原則と品質管理

- ✓ DX技術者の育成

- データ分析、アジャイル、ビジネスデザイン
- DXプラットフォーム : AWS、Azure、GCP 等

◆ 新たな教育への取り組み

- ✓ 新規ビジネス創出へチャレンジする人材育成
- ✓ 全社員を対象に eラーニングの必須講座を導入

◆ プロジェクト運営の標準化

- ✓ 自社開発プロセス標準を見直し、浸透に注力

中長期経営計画の振り返り

◆ 体質の強化

✓ 社内資格表彰制度を充実させ、技術の資格取得を継続推進

▪ **DX関連資格取得数** : **189** 資格 (2023/3末現在、重複取得含む)

| 資格名称 | 資格取得者数 (単位:名)※ | | |
|-------------------|----------------|---------|-----|
| | 2022/3末 | 2023/3末 | 増減 |
| 基本情報技術者 | 504 | 508 | +4 |
| 応用情報技術者 | 240 | 244 | +4 |
| ITストラテジスト | 3 | 3 | 0 |
| システムアーキテクト | 23 | 20 | ▲3 |
| プロジェクトマネージャ | 15 | 12 | ▲3 |
| ネットワークスペシャリスト | 12 | 13 | +1 |
| データベーススペシャリスト | 32 | 33 | +1 |
| エンベデッドシステムスペシャリスト | 2 | 2 | 0 |
| 情報処理安全確保支援士試験 | 26 | 26 | 0 |
| ITサービスマネージャ | 3 | 3 | 0 |
| システム監査技術者 | 2 | 2 | 0 |
| PMP | 27 | 27 | 0 |
| その他(ベンダー資格含む) | 611 | 663 | +52 |
| 合計 | 1,500 | 1,556 | +56 |

※重複取得含む

中長期経営計画の振り返り

◆ R&D投資

- ✓ 先端技術の研究等へ継続投資
 - AI技術研究 : MLOps
 - クラウド技術研究 : AWS (Amazon)
 - コンテナ技術研究 : docker、Kubernetes
 - 開発手法研究 : アジャイル 等々
- ✓ 社内技術情報交流会『HM-Tech Day』を継続開催
 - 先端技術の研究実績やプロジェクト事例の社内展開を図り、多様な顧客ニーズへの対応を目指す

◆ M&Aの推進

継続的に買収案件情報を収集するも、成約に至らず。

情報収集を継続し、事業規模及び動員力の拡大に繋げる。

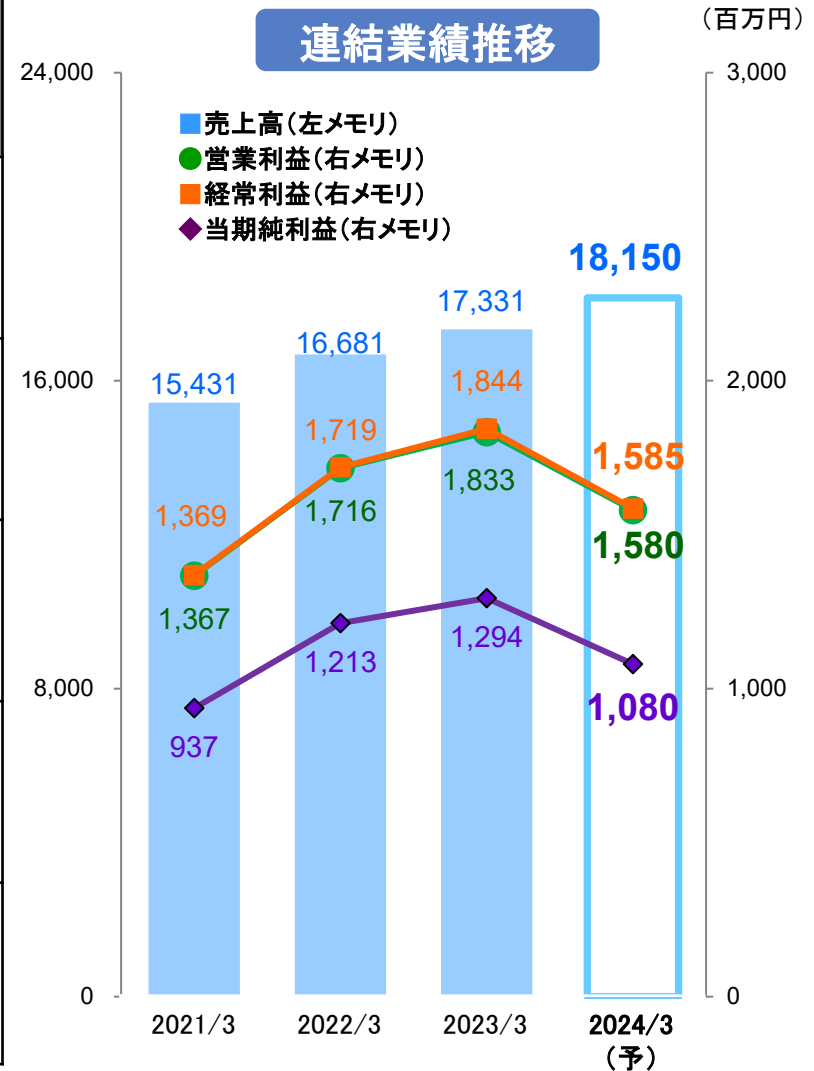
3

2024年3月期 業績予想(連結)

2024年3月期 業績予想(連結)

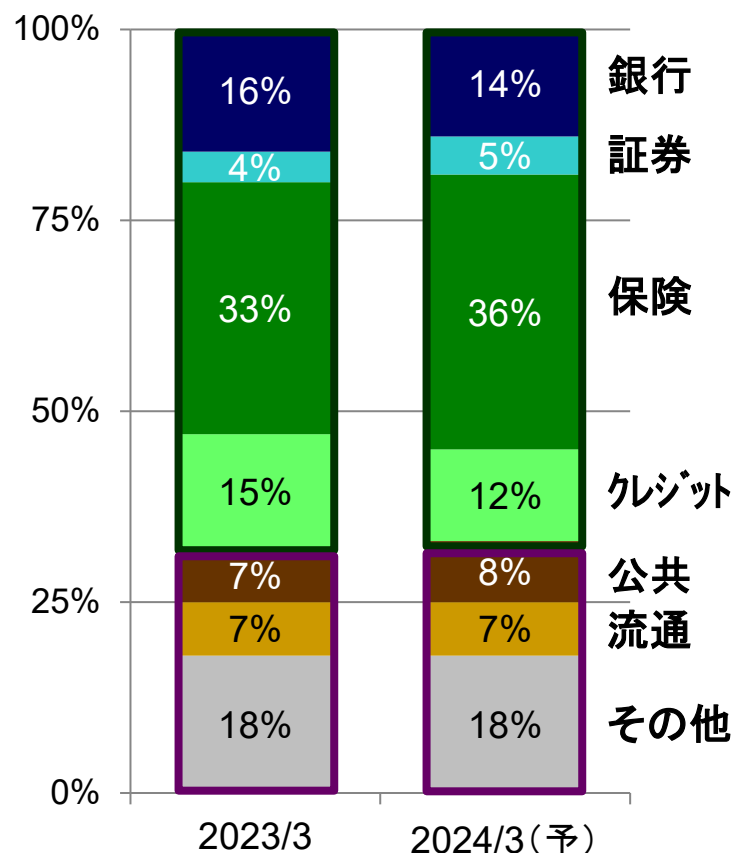
(百万円)

| | 2023/3期 実績 | 2024/3期 予想 | 増減率 |
|----------------|------------------|-----------------|--------|
| 売上高 | 17,331 | 18,150 | +4.7% |
| 営業利益 (利益率) | 1,833 (10.6%) | 1,580 (8.7%) | ▲13.8% |
| 経常利益 (利益率) | 1,844 (10.6%) | 1,585 (8.7%) | ▲14.0% |
| 当期純利益 (利益率) | 1,294 (7.5%) | 1,080 (6.0%) | ▲16.5% |
| 1株当たり 当期純利益 | 111円27銭 | 92円83銭 | — |



各業種別売上高の動向(連結)

構成比の推移



| | | |
|-----|-----|-----|
| 金融 | 68% | 67% |
| 非金融 | 32% | 33% |

■ 金融向け 構成比 67%

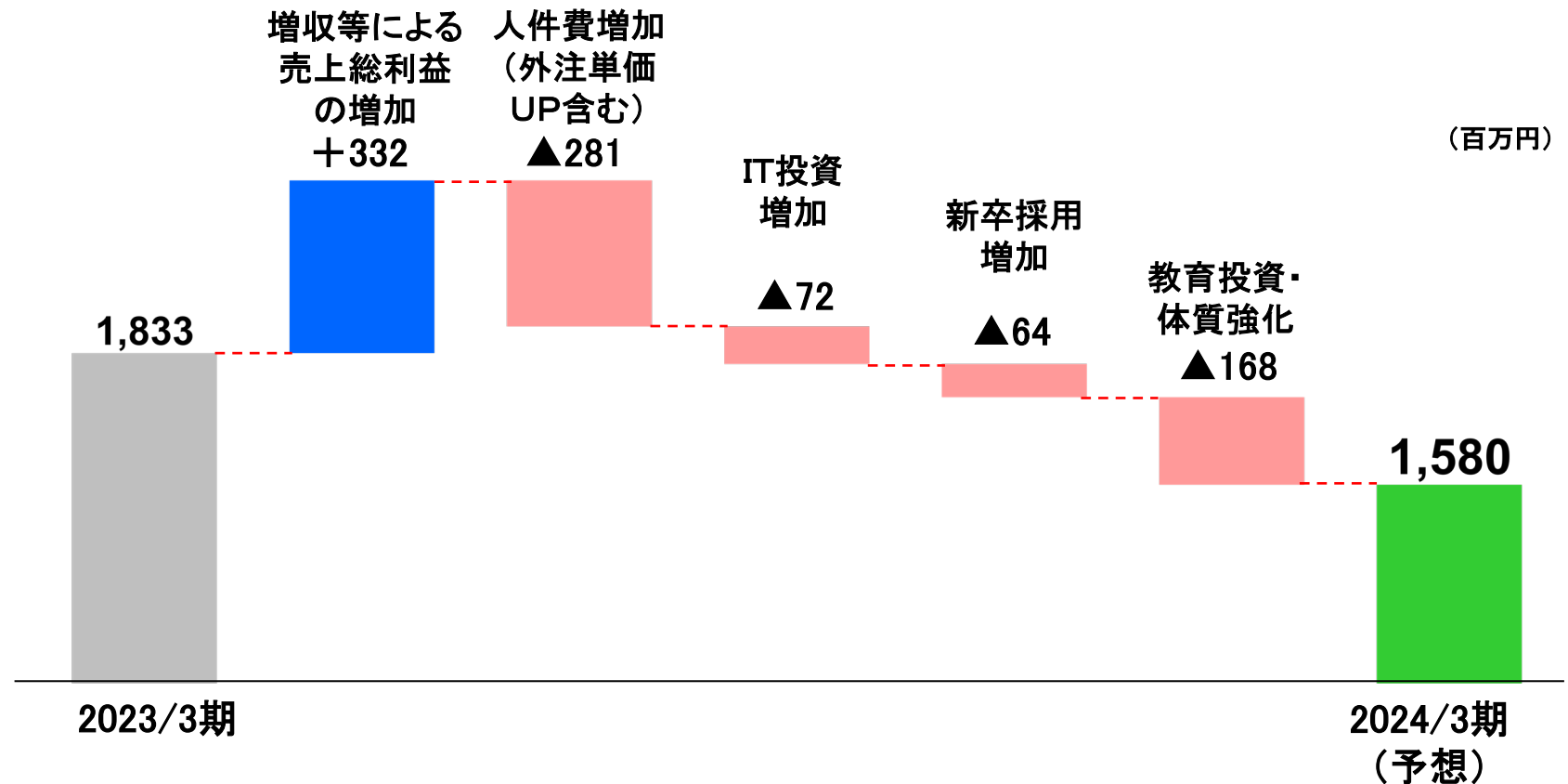
- ✓ 銀行 : ネット銀行向け案件の継続受注
都銀・証券代行案件の収束
- ✓ 証券 : DX案件や新規エンドユーザー
のネット証券案件の拡大
- ✓ 保険 : 生保の新商品対応及び
DX案件の拡大
- ✓ クレジット : エンドユーザー案件が
一部収束

■ 非金融向け 構成比 33%

- ✓ 公共 : 空運業界向け案件の回復
- ✓ 流通 : DX案件及び
ネット販売システムの拡大
- ✓ その他 : 製造業向けDX案件や
エンドユーザーとの取引拡大

営業利益予想分析(連結)

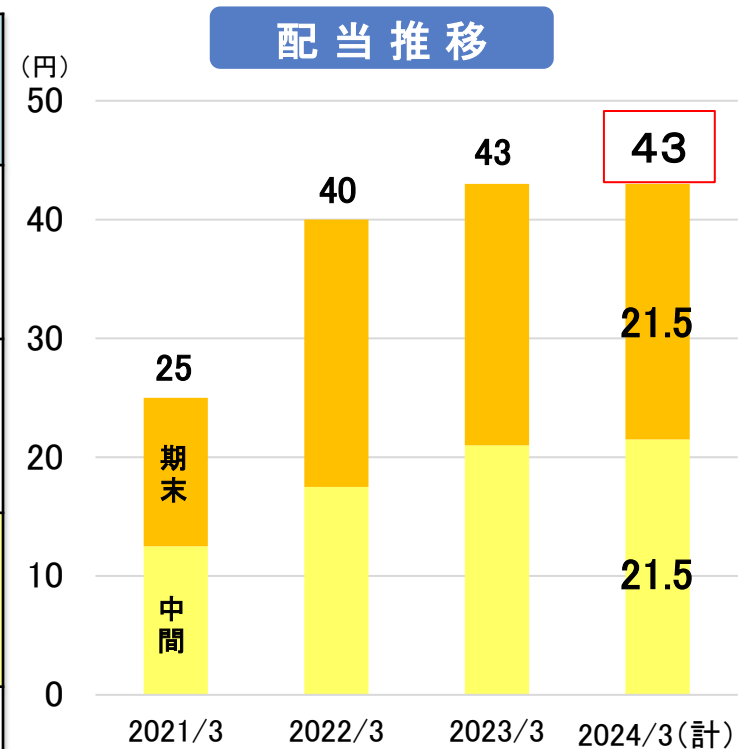
- 本年4月より社員の**月額給与水準の引き上げ**(全社平均5.7%UP)実施の他、IT投資、新卒採用増加、教育投資・体質強化等で**コスト増加**
- 当社内の生産性向上の計画で十分補うことができず
- 生産性向上と売価改善への取り組みを**継続実施**



配当の状況

- 配当の基本方針：安定的かつ適正な利益還元を継続して実施し、連結配当性向40%を目安とする
- 2024年3月期 年間配当金：**43円**（据置、配当性向**46.3%**）

| | 2023/3期 | 2024/3期 (計画) | 増減 |
|------|---------|-----------------|-------|
| 中間配当 | 21円 | 21円50銭 | +0.5円 |
| 期末配当 | 22円 | 21円50銭 | ▲0.5円 |
| 年間合計 | 43円 | 43円 | ±0 |
| 配当性向 | 38.6% | 46.3% | — |



※2020年10月1日の1:2の株式分割の影響を遡及して調整しております。

4

次期中期経営計画の概要

(2023～2025年度)

次期中期経営計画の概要

◆ 次期中期経営計画の基本戦略

これまでの「中長期経営計画C⁴ 2022」をベースとし、
 更なる、**既存顧客**との**取引領域の拡大**による深耕を
 図ってまいります。

- ① 主力の受託開発事業(コアビジネス)の拡大
 ⇒ **非金融分野比率／エンドユーザー取引比率(30%)**維持
- ② デジタル技術を核としたDX案件の積極的受注
 ⇒ **DX案件売上高比率(20 ⇒ 25%)**
- ③ 人的資本への投資を継続実施
 ⇒ DX技術案件を専門的に取り扱う部門を設置
 当該部門にて、
 DX技術者 **30%** 増員、DX技術系の資格保有数 **90%** 増
 ⇒ 全社施策としてPL人数 **20%** 増員
- ④ 開発人員の増強
- ⑤ 更なる事業拡大に寄与する業務・資本提携やM&Aの遂行

次期中期経営計画の3カ年事業計画につきましては、

2023年4月から

社員の**月額給与水準の引き上げ**（全社平均 **5.7%UP**）

を実施した影響などを受けて、経費の見通しが大きく変わったことなどにより、

再度、**事業計画数値を見直す**ことと致しました。

当該 3カ年事業計画は、当社内の生産性向上と売価交渉の状況を踏まえ、

2024年3月期第1四半期の決算発表時に

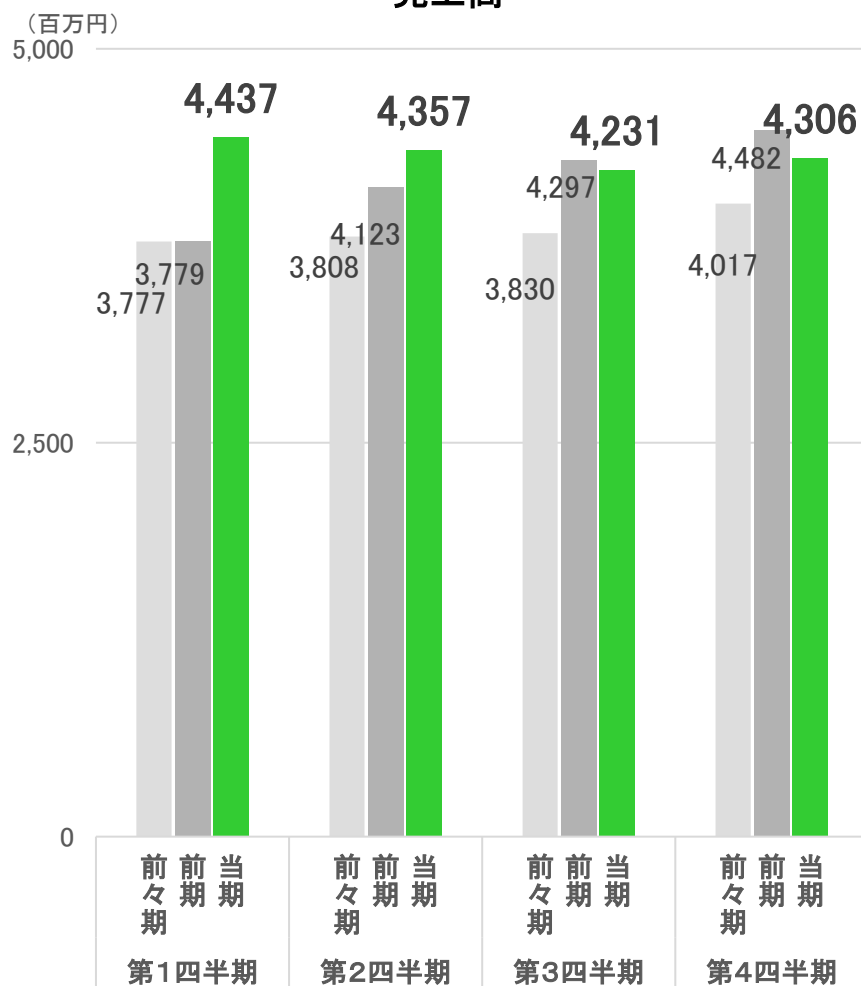
公表する予定であります。

四半期推移

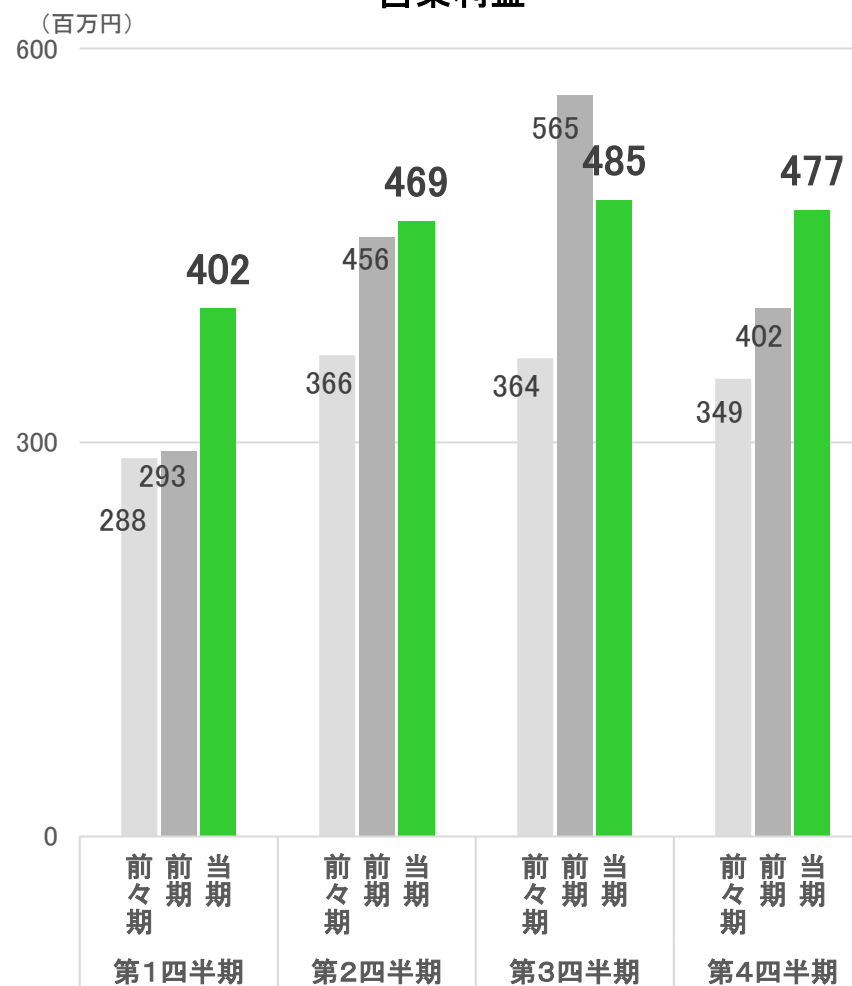
連結四半期推移(売上高・営業利益)

■当 期:2023年3月期
 ■前 期:2022年3月期
 ■前々期:2021年3月期

売上高



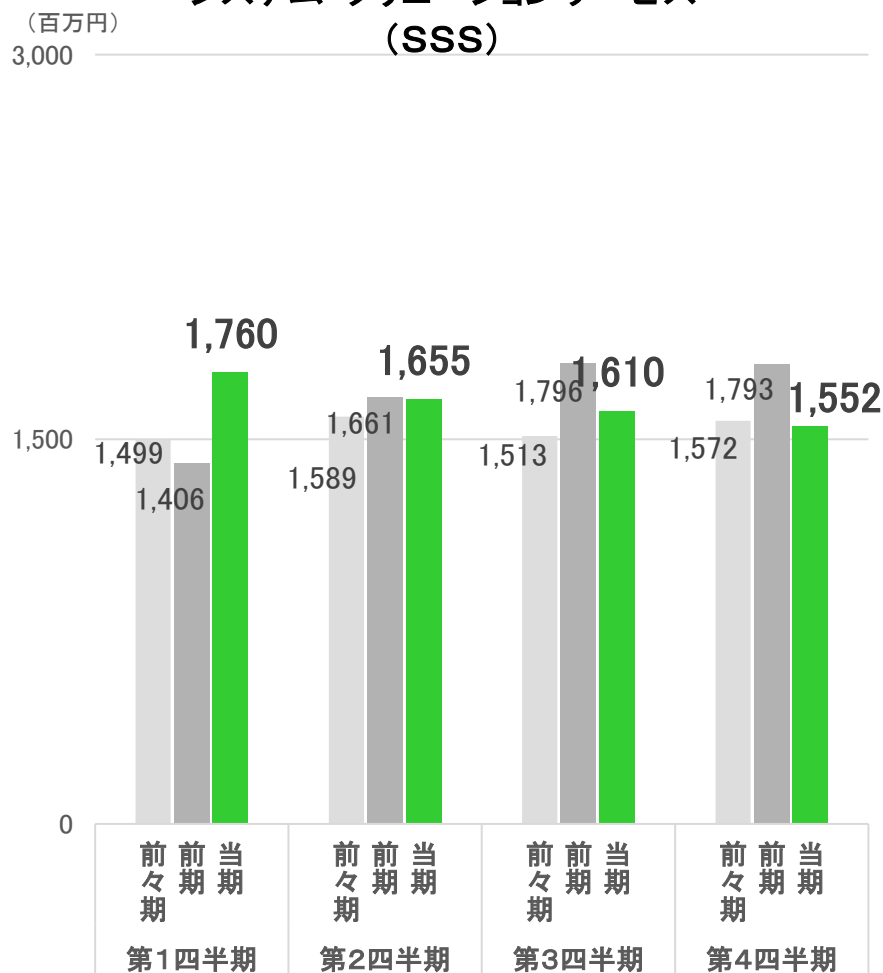
営業利益



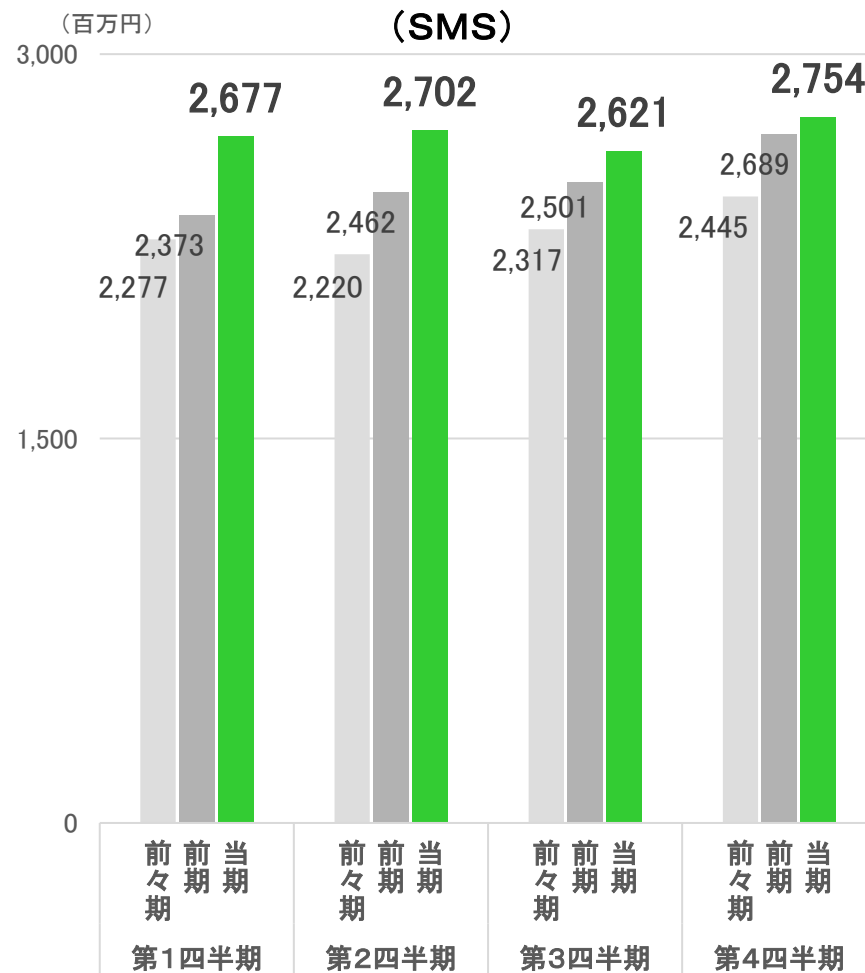
連結四半期推移(サービス分野別売上高)

■ 当期: 2023年3月期
 ■ 前期: 2022年3月期
 ■ 前々期: 2021年3月期

システム・ソリューションサービス (SSS)



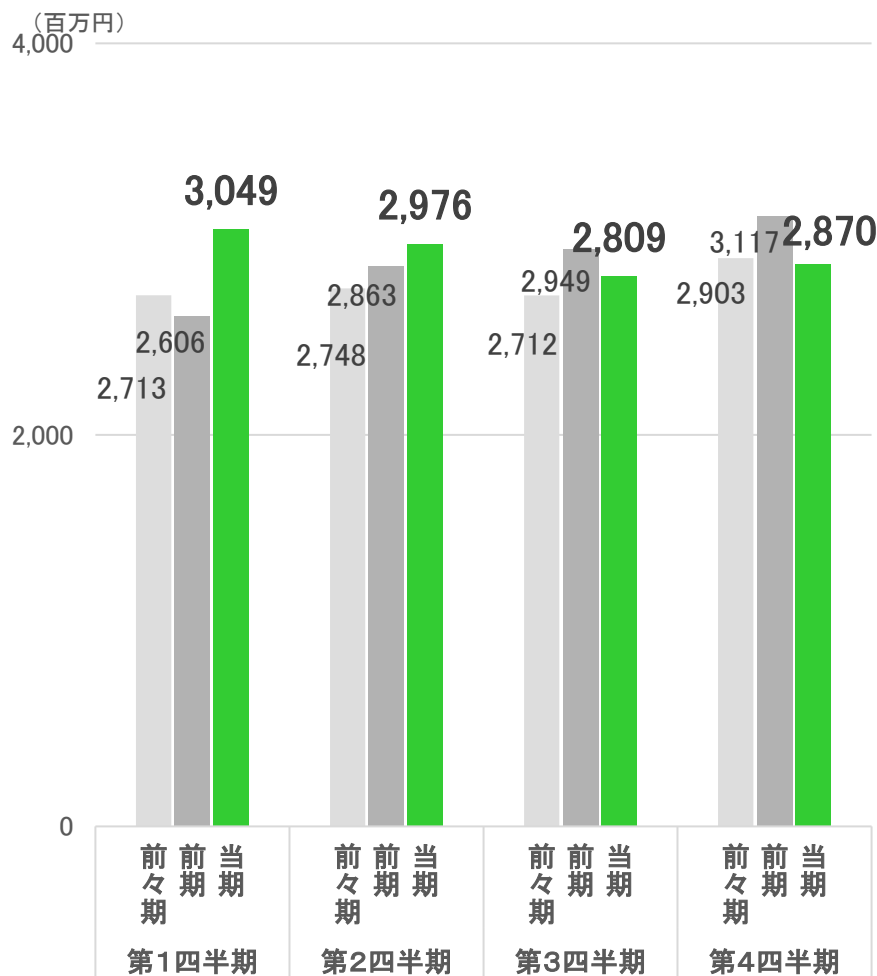
システム・メンテナンスサービス (SMS)



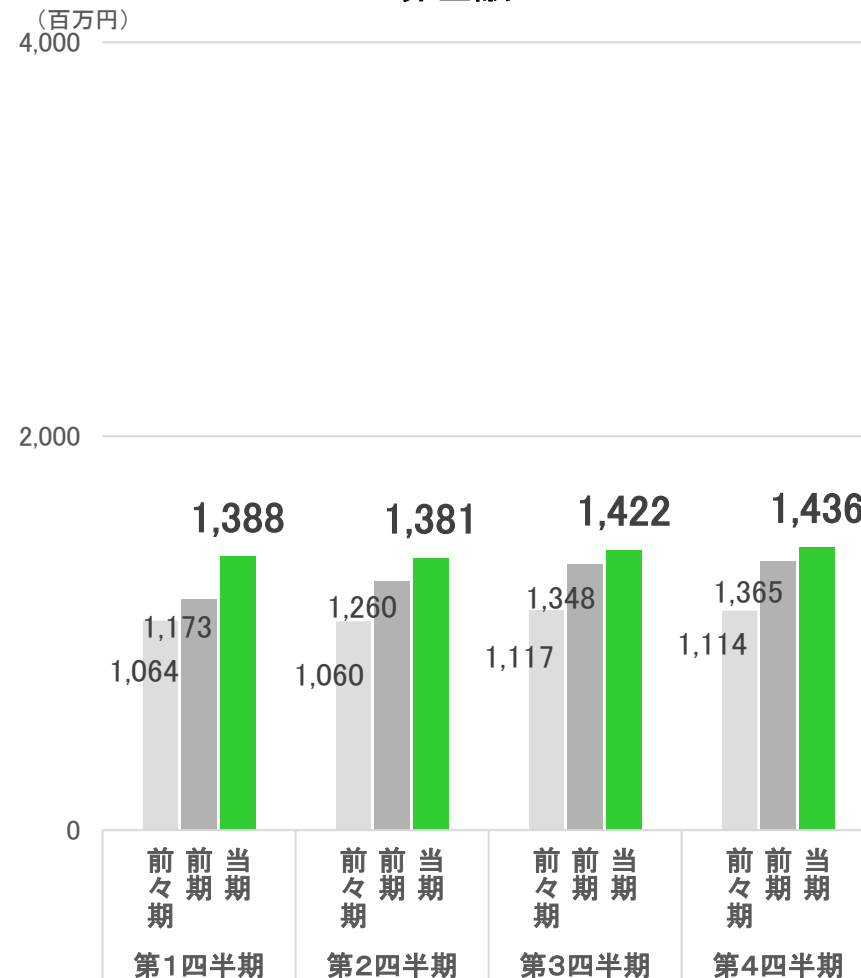
連結四半期推移(業種別売上高)

■ 当期:2023年3月期
 ■ 前期:2022年3月期
 ■ 前々期:2021年3月期

金融



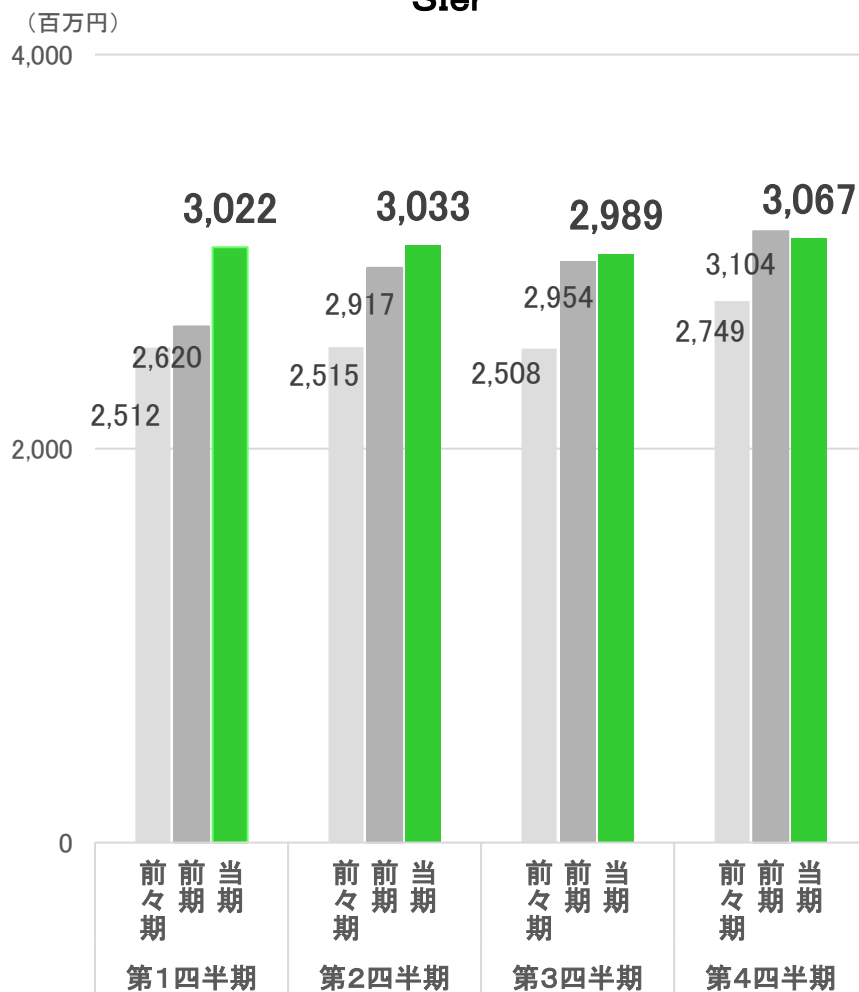
非金融



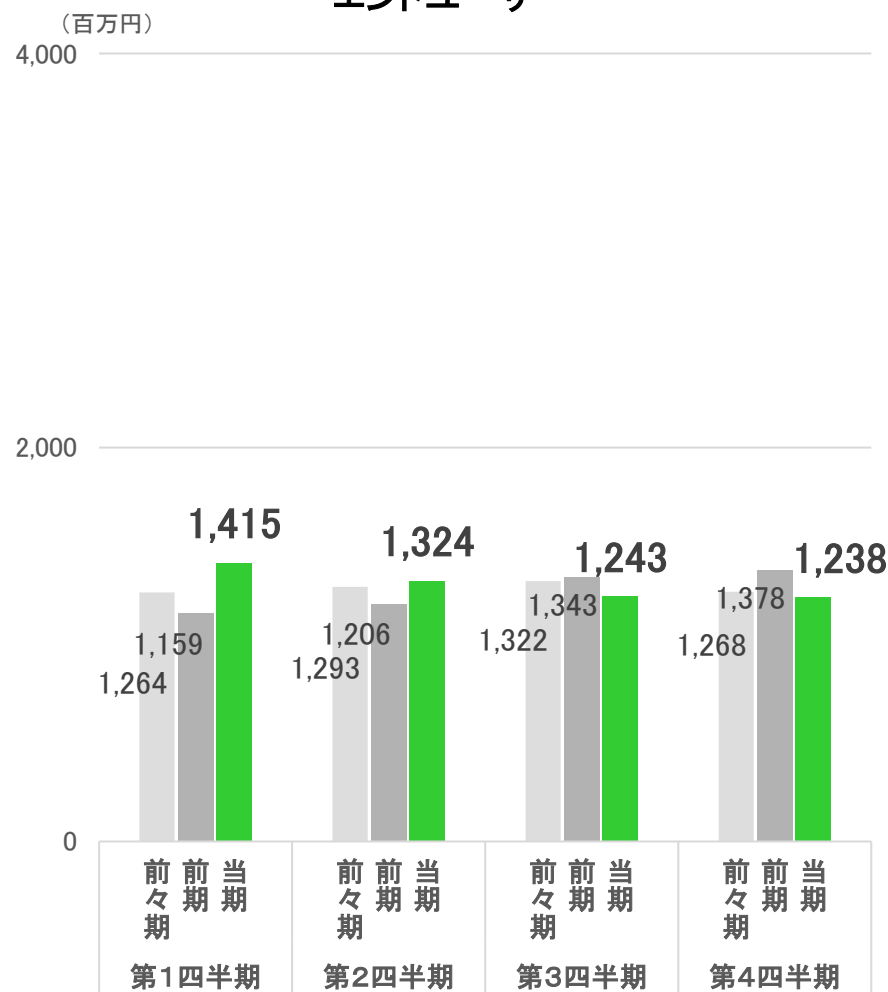
連結四半期推移(顧客別売上高)

■当期:2023年3月期
■前期:2022年3月期
■前々期:2021年3月期

SIer



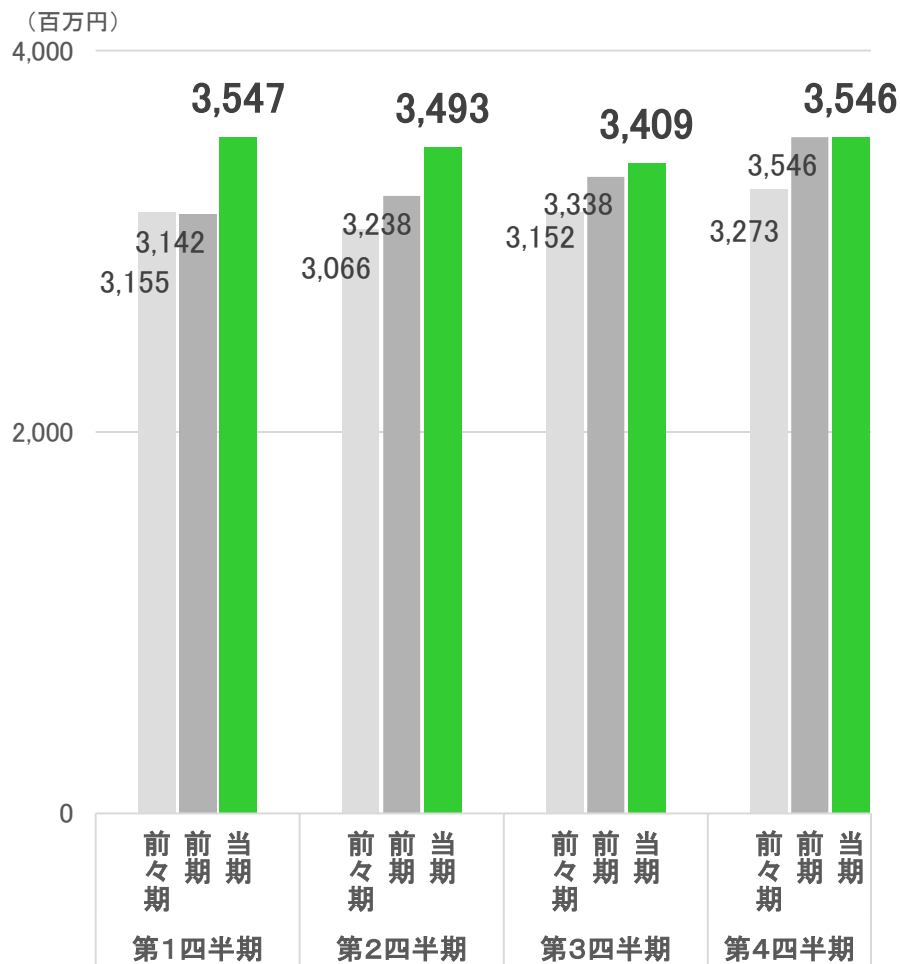
エンドユーザー



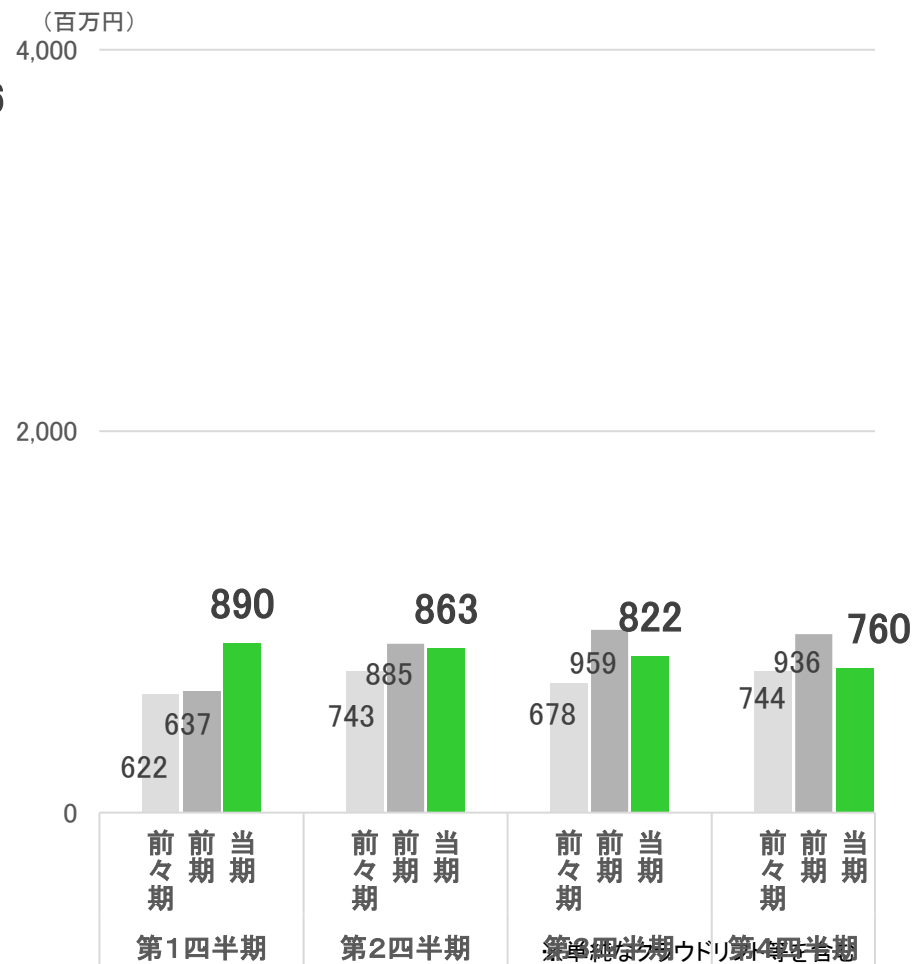
連結四半期推移(コア事業・DX別売上高)

■当 期:2023年3月期
 ■前 期:2022年3月期
 ■前々期:2021年3月期

コア事業



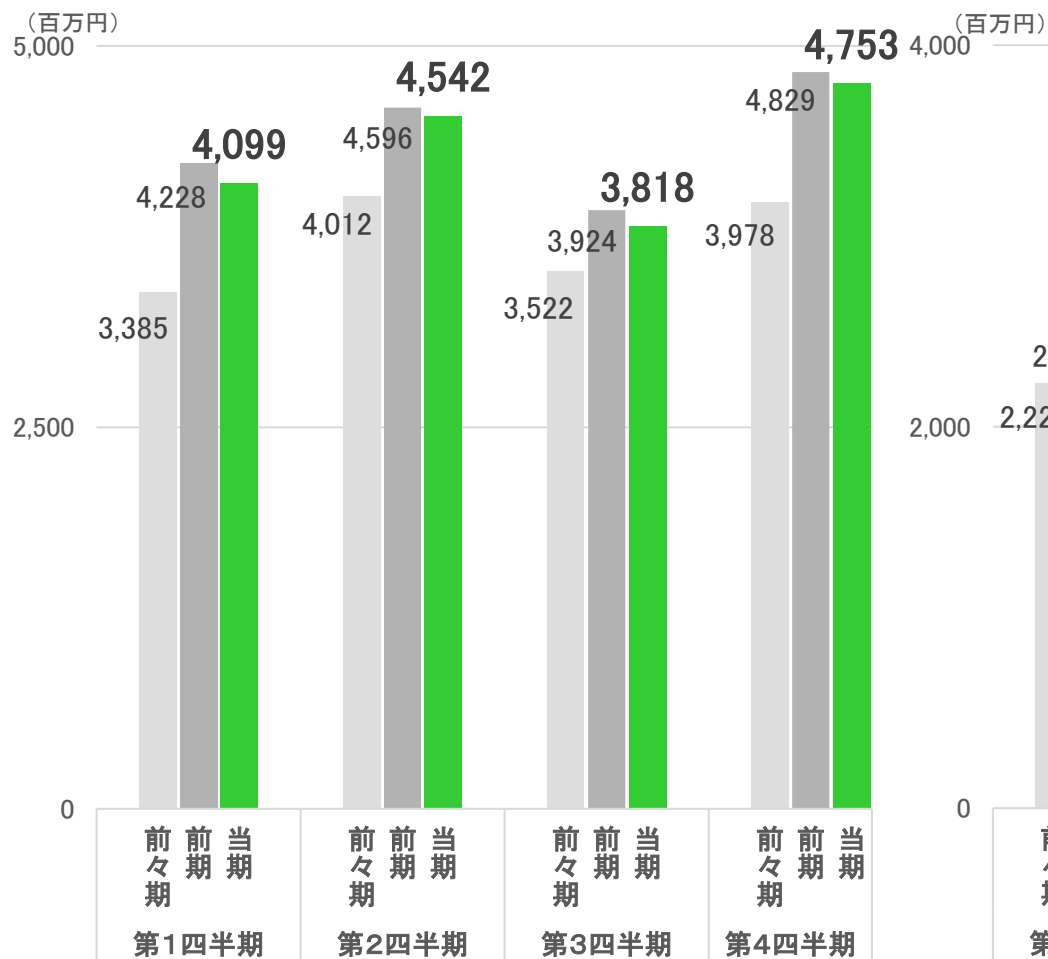
DX



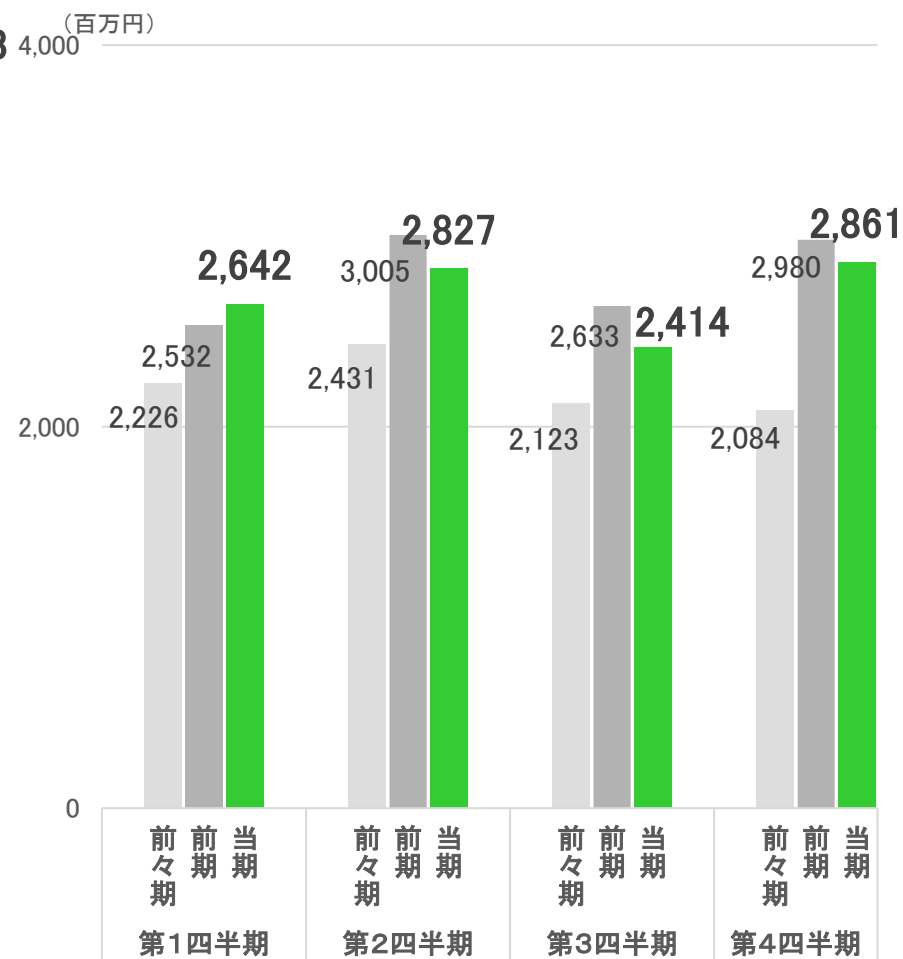
連結四半期推移(受注高・受注残高)

受注高

■当 期:2022年3月期
■前 期:2021年3月期



受注残高



本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2023年3月期 決算説明会

2023年5月12日

株式会社 **ハイマックス**

代表取締役社長 中島 太

証券コード: 4299 東証プライム市場

<https://www.himacs.jp/>